



2016年2月8日

各 位

上場会社名	新日鐵住金株式会社
代表者	代表取締役社長 進藤 孝生
(コード番号	5401)

子会社の業績予想の修正に関するお知らせ

本日、当社子会社であるジオスター株式会社が、別紙のとおり業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

なお、これによる当社の連結業績予想への影響は軽微であります。

(お問い合わせ先) 総務部広報センター TEL : 03-6867-2135

以 上



(別 紙)

平成 28 年 2 月 8 日

各 位

会 社 名 ジオスター株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 栗山 実則  
(コード番号 5282 東証第 2 部)  
問 合 せ 先 執行役員  
経営管理部経理チームリーダー  
古橋 義孝  
(TEL 03-5844-1201)

## 特別損益の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は平成 28 年 3 月期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）において、下記の通り特別損益を計上することになりましたのでお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 5 月 15 日に公表いたしました平成 28 年 3 月期の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

併せて、平成 28 年 3 月期の個別業績予想について、前期実績に対して大幅に上回る見込みとなりましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損益の計上

##### (1) 特別利益（関係会社株式売却益）の計上

本日別途開示しております「子会社の異動を伴う株式の譲渡に関するお知らせ」及び「平成 28 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）3.（3）重要な後発事象」に記載の通り、本日開催の取締役会において、当社の連結子会社であるレスコハウス株式会社の株式の全部を株式会社桧家ホールディングスに譲渡することについて決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。

当該株式の譲渡により、平成 28 年 3 月期決算において、連結・個別共に、約 4.1 億円の特別利益（関係会社株式売却益）を計上する見通しです。なお、連結の関係会社株式売却益については、年度末のレスコハウス株式会社の純資産額に基づく計上となるため、金額については今後変動する可能性があります。

##### (2) 特別損失（固定資産売却損）の計上

本日別途開示しております「子会社の異動を伴う株式の譲渡に関するお知らせ」及び「平成 28 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）3.（3）重要な後発事象」に記載の通り、本日開催の取締役会において、当社が保有し、当社の連結子会社であるレスコハウス株式会社に賃貸している工場用地を株式会社桧家ホールディングスの傘下となるレスコハウス株式会社に譲渡することについて決議し、同日付で土地売買契約を締結いたしました。

当該固定資産の譲渡により、平成 28 年 3 月期決算において、連結で約 61 百万円、個別で約 79 百万円の特別損失（固定資産売却損）を計上する見通しです。

2. 平成 28 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

① 連結通期業績予想数値の修正

（金額単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	31,000	560	590	390	12 円 47 銭
今回発表予想（B）	26,000	710	730	600	19 円 18 銭
増減額（B－A）	△5,000	150	140	210	－
増減率（％）	△16.1	26.8	23.7	53.8	－
（ご参考）前期実績 （平成 27 年 3 月期）	19,887	△325	△276	△267	△ 8 円 56 銭

② 個別通期業績予想数値の修正

（金額単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	－	－	－	－	－円－銭
今回発表予想（B）	20,500	1,020	1,050	960	30 円 69 銭
増減額（B－A）	－	－	－	－	－
増減率（％）	－	－	－	－	－
（ご参考）前期実績（C） （平成 27 年 3 月期）	14,503	△78	△22	△510	△16 円 32 銭
増減額（B－C）	5,997	1,098	1,072	1,470	－
増減率（％）	41.4	－	－	－	－

3. 業績予想修正の理由

連結売上高は、防潮堤製品及びその他土木案件の翌期へのずれ込みや海外子会社の受注済セグメント案件の工事遅れ等により、260 億円（対前回予想 16.1%減）となる見通しです。（個別売上高は、対前期実績 41.4%増の 205 億円の見込み）

営業利益、経常利益につきましては、大型投資案件の生産立ち上げが順調であったことに加え、原材料コストの低減、その他様々な原価低減施策の取り組みや低採算案件の減少による利益率の改善などにより、前回予想から増益となる見通しです。

また、連結の親会社株式に帰属する当期純利益につきましては、経常利益の改善に加え、「1. 特別損益の計上」に記載の通り、連結子会社レスコハウス株式会社の株式譲渡及び同社への土地売却に関する特別損益（4.1 億円の特別利益及び 61 百万円の特別損失）の計上等により、6 億円（対前回予想 53.8%増）となる見通しであります。（個別の当期純利益は、9.6 億円の見込み）

（注）上記予想は、現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上